

『社会学年報』投稿論文執筆要項  
(2026年6月16日改訂)

1. 投稿できる原稿

原稿は、日本語で書かれた未発表のものに限ります(他の雑誌等に投稿中のものは投稿できません)。

2. 要約とキーワード

特集論文・自由投稿論文には和文 600 字以内及び英文 150 語以内の要約をつけます。各要約の末尾には、それぞれの言語で 3 語のキーワードを明記してください。

3. 提出原稿の書式と分量

原稿は以下の原則に厳密に従って提出してください。

- (1) 特集論文・自由投稿論文は、①表題、②和文要約、③キーワード、④本文(図表を含む)、⑤注、⑥引用文献、⑦英文表題、⑧英文要約、⑨英語キーワードの順序で構成してください。
- (2) 原稿は A4 版横書きにて 40 字×40 行で作成してください。表題・注・文献リスト・要約等もすべて本文と同じ文字サイズ、同じ字詰めで作成してください。東北社会学会ウェブサイトの「社会学年報 概要」ページから投稿論文用テンプレートファイルをダウンロードできますので、適宜ご利用ください。
- (3) 自由投稿論文は、3.(1)の①表題から⑨英語キーワードまで含めて、18,000 字以内でおさめるようにしてください。文字数は、文書作成ソフトの文字カウント機能を使い、「文字数(スペースを含めない)」の項目の文字数を確認してください。図表は刷り上がり 4 分の 1 ページ大を 400 字相当として字数換算してください。

4. 表記法

- (1) 句読点は、全角の「。」と全角の「、」を用います。
- (2) 英数字は原則として半角文字を使います。
- (3) 節、小節には半角文字を用いて、それぞれ「1.」「1.1」のように記入ください。
- (4) 原則として西暦を用います。元号を使用するときには、「昭和 29 年(1954 年)」のように記してください。

5. 図表・写真

- (1) 表は上部中央に、「表 1 人口の構成」のように題名を記してください。他の文献から引用する場合は、表の下部に「出典：厚生省人口問題研究所『人口統計資料集 1998 年』」のように、引用した文献を示してください。

- (2) 図は図の下部中央に、「図1 人口の構成」のように題名を記してください。引用する場合は、題名の下部に表の場合と同様に表の出典を示してください。

## 6. 注・引用文献

- (1) 注は、本文該当箇所の右肩に通し番号で(1)(2)と記し、本文の最後にまとめて記載します。

- (2) 引用文献の参照形式及び文献リストのあげ方は、最新の『社会学評論スタイルガイド』（日本社会学会編集委員会）に準拠してください。

<http://www.gakkai.ne.jp/jss/bulletin/guide.php>

- ・ 引用文献は、（ ）でくくって、（著者名 原著発表年：原著引用頁＝邦訳書刊行年：邦訳書引用頁）の順で記載します。
- ・ 文献リストは、著者名（アルファベット順）、発表年、「論文名」編者名『書名／雑誌名』、出版社名（巻）号：所在頁の順で記載します。
- ・ 和文文献は、書名・雑誌名を『 』で、論文名を「 」でくくってください。欧文書名／雑誌名はイタリック体にして、論文名を“ ”でくくってください。

（例示）

- ① 引用文献は以下のように表示します。

- ・ リースマンは「もし、他人指向的な人間が権力を求めているのだとすれば、何をかれは求めているのだろうか」（Riesman 1950: 240=1964: 223）と述べている。

- ② 同一著者の同一年の文献については、（黒岡 1981a: 223）のように a, b, c, をつけてください。

- ③ 文献リストは以下のように表示します。

## 文献

Blumer, H., 1971, "Social Problems as Collective Behavior," *Social Problems*, 18: 298-306.

Klandermans, B., 1992, "The Social Construction of Protest and Multiorganizational Fields," A. Morris and C. M. Mueller eds., *Frontiers in Social Movement Theory*, New Heaven: Yale University Press, 77-103.

黒岡千佳子, 1981a, 「わが国における女性高等教育の発展と女性エリート形成」『教育学研究』48(1): 43-53.

———, 1981b, 「わが国における現代女性エリートの意識と実態」『大阪大学教育社会学・教育計画論研究集録』2: 27-61.

Riesman, D., 1950, *The Lonely Crowd*, New Heaven: Yale University Press. (=1964, 加藤秀俊訳『孤独な群集』みすず書房.)

作田啓一, 1996, 『個人』三省堂.

吉川正之, 1980, 「社会生活への評価と展望」NHK 放送世論研究所『80年代と日本人——生活意識と社会像』日本放送出版協会, 31-79.

## 7. その他の書式

その他の原稿書式については, 最新の『社会学評論スタイルガイド』(日本社会学会編集委員会)に準拠してください.

## 8. 執筆者情報の記載に関する注意

査読における匿名性保持のため, 執筆者を特定しうる情報を原稿に記載することは原則として禁じます. たとえば, 「拙稿」, 「拙著」といった表現を用い, 自著の文献を引用文献に挙げ, 言及するといった記載です. また, 科研費や研究助成等に関する情報は掲載決定後に追記いただけますので, 投稿時は記載をお控えください. 執筆者を特定しうる情報が記載されていると編集委員会が判断した場合は, 査読依頼時に該当する記載のマスキング処理を行います.

## 9. 原稿の提出

以下の2つを提出してください.

### A) 原稿

Word ファイルおよび PDF ファイルの2つを提出してください. 原稿には執筆者名を記さないでください

### B) 別紙

以下の5項目(再投稿の場合は6項目)を明記した別紙を Word ファイルで提出してください.

- ① 論文タイトル
- ② 投稿日付
- ③ 文字数(文字数カウントには図表, スペースを含める. 図表が1ページの1/4以内なら400字, 1/2以内なら800字, 1ページなら1600字として文字数に追加)
- ④ 執筆者情報: 執筆者全員について, 氏名(ふりがな)(複数の場合は代表者を明記), 所属(学部・研究科なども), 職位, 所属住所(郵便番号・都道府県も, 自宅可), 電子メールアドレス, 研究関心2~3点
- ⑤ 原稿が未発表であり二重投稿でないことの宣誓
- ⑥ 今回の投稿原稿が過去, 本誌に投稿した原稿の再投稿である場合, (1) 過去の投稿年, (2) 前回投稿時に査読者から受けた修正要求と今回の投稿原稿の修正箇所・修正内容の対応を示した修正内容一覧を記載してください.

## 10. 校正

執筆者による校正は初校のみとします。初校での校正は、原則として誤字・脱字等、誤植の訂正とし、加筆・修正は認められません。長期不在の場合、編集委員会に事前にご連絡ください。

## 11. 原稿の提出先と締め切り

- (1) 原稿および別紙は『社会学年報』論文投稿用フォームからウェブ提出してください。論文投稿用フォームは東北社会学会ウェブサイト「社会学年報 概要」ページからアクセスできます。
- (2) 投稿受付は年1回、締め切りは日本時間1月7日23:59とします。
- (3) 原稿に形式的不備がないことを編集委員会が確認した後、原稿は受付され、原則として2週間以内に電子メールで代表者に通知されます。2週間を過ぎても受付連絡がない場合は、速やかに編集委員会にお問い合わせください。